

ちゅらさん運動と飲酒運転根絶のさらなる推進に関する宣言決議

犯罪や交通事故のない、安全で安心して暮らせる地域社会の実現は、私たち市民共通の願いである。

本市の犯罪発生件数は、平成 17 年以降、6 年連続で減少してきたものの、本年当初からは一変して増加傾向に転じている。特にオートバイ・自転車等の盗みや、車上狙い、スーパー等における万引きなどの窃盗犯罪が大幅に増加し、子ども・女性を対象にした相次ぐ声かけや、少年による暴行事件が発生するなど、極めて憂慮すべき状況にある。

とりわけ、少年問題については、深夜徘徊や集団飲酒等の非行が後を絶たず、青少年の健全育成に向けた対策の強化が喫緊の課題となっている。

こうした現状は、地域社会の連帯意識の希薄化も一因として挙げられるが、大人社会の飲酒にかかる規範意識の低さが青少年に計り知れない影響を及ぼしている。

本年 10 月末現在、飲酒運転で検挙された那覇市民は 162 人にも上り、飲酒に絡む人身事故については 14 件発生し、そのうち 1 件が死亡事故となっており、飲酒運転の根絶はいまだ道半ばと言わざるを得ない。

年末・年始の忘年会や新年会等での飲酒の機会が増える中、飲酒に絡む事件・事故や、飲酒運転による重大交通事故の発生が懸念されるところである。

よって、本市議会は、沖縄の将来を担う子ども達の健全育成を図る「ちゅらひとづくり」、犯罪の起こりにくい地域環境を目指す「ちゅらまちづくり」、及び地域の連帯とユイマールを取り戻す「ちゅらゆいづくり」に向けた「ちゅらさん運動」を一層支援するとともに、本市から飲酒運転による悲惨な交通事故をなくすため、「飲酒運転をしない、させない、許さない」社会環境の機運の醸成を図ることで「飲酒運転の根絶」をさらに推進することを誓い、ここに宣言する。

以上、決議する。

平成 23 年（2011 年）12 月 9 日

那 覇 市 議 会